

下水道事業会計決算

**1億7112万円の
単年度損失**

平成22年度の収入は11億2045万円、支出は12億9157万円で、差し引き1億7112万円の損失となりました。

これは、下水道事業が建設途中で、普及率は伸びているものの、処理区域内の水洗化率(下水道に接続している割合)が十分とは言えず、使用料収入が伸び悩んでいるためです。

市内には、まだまだ下水道が整備されていない地区があり、これからも多額の事業費が必要となります。そのため、今後とも経営の安定と健全化に努めていきます。

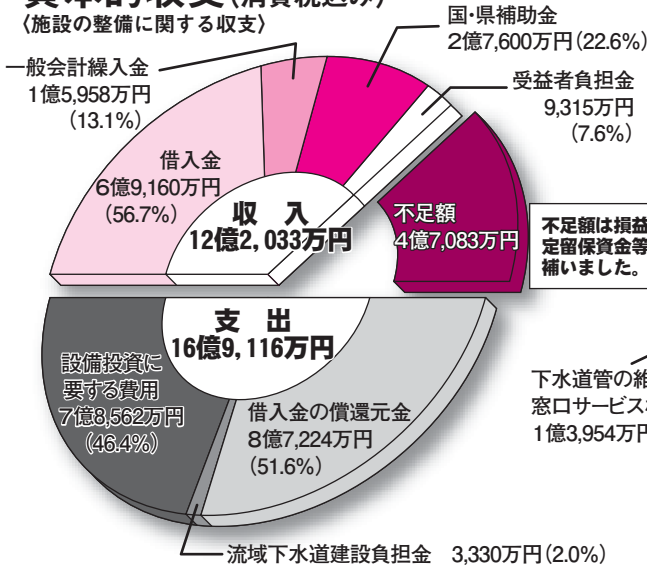
水洗化にご協力ください

下水道施設の建設や維持管理の費用の一部は、下水道使用料や受益者負担金などで賄われています。

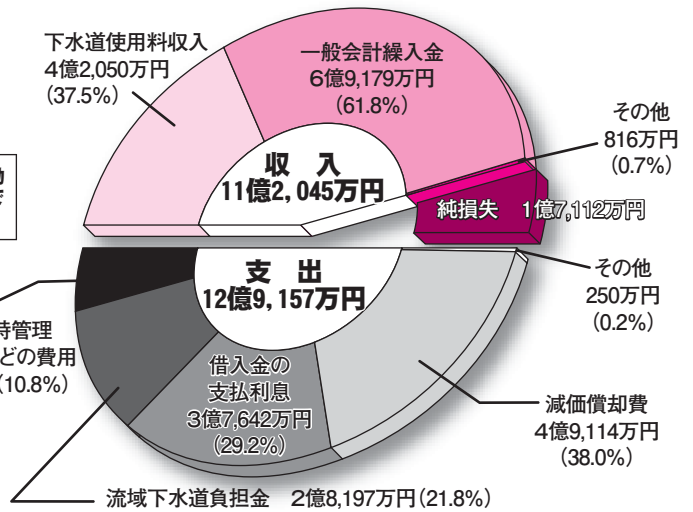
下水道を整備すると、トイレの水洗化が進み、また家庭などからの汚水は処理場で浄化し放流するため、川や海などがきれいになります。

環境を守り、快適な暮らしを実現するために、地域ぐるみで水洗化を進めましょう。

資本的収支(消費税込み) (施設の整備に関する収支)

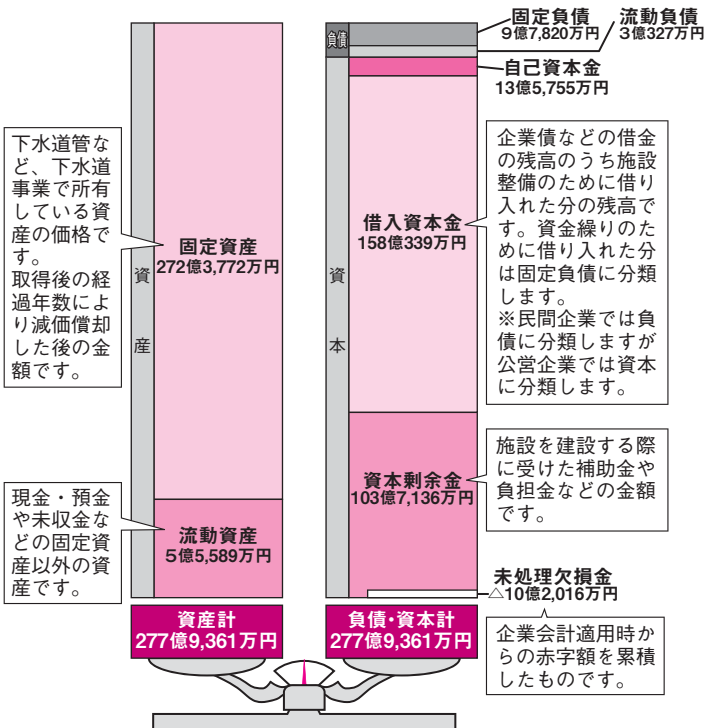


収益的収支(消費税抜き) (事業の運営に関する収支)



平成22年度 大館市下水道事業貸借対照表

(平成23年3月31日現在)



平成22年度に整備した地区

- 大館地域** 御成町、有浦、中道、餅田、根下戸新町の一部
 - 比内地域** 味噌内の一部
 - 田代地域** 茂屋～赤川間
- 新たに下水道が使えるようになった面積……………43.7ha

処理状況

行政区域内人口	80,073人
処理区域内人口	34,420人
普及率	43.0%
水洗化人口	26,656人
水洗化率	77.4%
年間処理水量	2,630,915m ³
年間有収水量	2,472,803m ³
有収率	94.0%